

### III-1 SSH 講演会

#### (1) 研究仮説

研究開発の第一線で活躍する研究者や開発者の方にご講演いただき、研究開発の内容や現場の様子、苦勞されていることや、やりがいなどについてお話しいただくことで、生徒は科学技術、地域課題解決についての興味関心を高め、進路意識や学習意欲を向上させるであろう。



#### (2) 実践

- ア 実施日時 令和4年11月29日(火) 13:30~15:00
- イ 実施場所 大昭ホール 龍ヶ崎 大ホール
- ウ 参加生徒 全日制 全校生徒
- エ 講師 筑波大学  
理事 伊藤 久美 様
- オ 演題 「ライフシフト時代の100年人生の考え方」
- カ 実施形態 講師による講演(70分間) 生徒との質疑応答(10分間)

#### (3) 評価

- ア 参加生徒の質問(一部抜粋)
  - ・ 講演会を聞いていて行動力がすごいなと思ったのですが、伊藤さんがそのように行動できる原動力になっているものはなんですか？
  - ・ 中高生でもグローバルを意識するには具体的に何をしていけばいいですか。
  - ・ 人生の中で仕事が1つで生涯を終えるということは少ないと仰っていたと思いますが会社が倒産したりしたときに転職というのは年代によってやりやすさが変わって来ると思います。40代後半~50代くらいでの転職はかなり勇気がいると思うのですが転職という行動の原動力には例えば何があると思いますか？
  - ・ 本を読むことが大切とおっしゃっていましたが、どのような本を読むことがいいのですか。
  - ・ 今までたくさんのことに挑戦してきてどんな失敗をしてきましたか？またその失敗をどのように乗り越えてきましたか？
  - ・ SONYやApple、SOMPOというような企業が出てきましたが、今では世界や日本で大企業であるにも関わらず、どうしてそのようなところと関係性をもつことができたのでしょうか。
  - ・ 経営を行う上でこれだけは曲げたくないと思う芯の部分を教えてください。

イ 事後アンケートより(一部抜粋) ※対象者は中1、中2、中3、高1、高2の全生徒

1-① 講演前に「伊藤久美様」「100年人生」「ライフシフト」の少なくとも一つについて、インターネット等で調べたり、質問を考えたりしましたか？				
調べて、質問を考えた	調べて、質問を考えなかった	調べず、質問を考えた	調べず、質問を考えなかった	
7.2%	16.1%	19.1%	57.6%	
1-② この講演会を通じて「足りない物事はなにか？」と考えましたか				
1(よく考えた)	2	3	4	5(全く考えなかった)
22.0%	46.1%	27.3%	3.6%	1.0%
2-② この講演会を通じて「問う力(足りないことに気づく力)」はどれくらい増しましたか？				
始める前より明らかに増した	ある程度増した	少しは増した気がする	変わらない	減少した
28.6%	43.4%	23.7%	4.3%	0%

#### ウ 考察

参加生徒の感想、事後アンケートの結果より、生徒はマーケティングについての興味関心を高めることができたと考えられる。中でも、物事をいろいろな角度から見ることで新しい発想を生み出すシックス・ハット法は、自分自身や地域等の課題解決に役立つアドバイスであった。本講演会は、生徒の意欲を大いに刺激し、進路意識や学習意欲の向上もたらしたことが推察される。